

科目名	サービス介助							年度	2025
英語科目名	Service Assistance							学期	後期
学科・学年	情報ビジネス科 2年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	山下 恵子		教員の実務経験	有	実務経験の職種		救命救急士		

【科目の目的】

この科目の目的は、高齢者や障がいのある人々に対して尊重と思いやりを持ちながら、適切な介助技術とおもてなしの心を提供する能力を養うことです。学生は、相手の尊厳と安心感を尊重し、適切なサービスと支援を提供するスキルを習得します。

【科目の概要】

この科目では、高齢者や障がいのある人々へのサービス介助に焦点を当てます。学生は、適切なコミュニケーションスキルや介助技術を学び、相手に寄り添ったサポートを提供するための知識と実践力を身につけます。

【到達目標】

おもてなしの心
介助技術
コミュニケーションスキル
安心感を提供する方法
相手への適切なアプローチ方法

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合があります。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力
到達目標 A	高齢者や障がいのある人に対して、温かく気配りのあるおもてなしを提供し、尊厳と安心感を提供する	高齢者や障がいのある人に対して、配慮深く接し、尊重し、安心感をもたらすおもてなしを提供する	高齢者や障がいのある人に対して、丁寧な態度で接し、リラックスした雰囲気を提供する	おもてなしの心に改善の余地があり、相手の尊厳や安心感を不十分に配慮していることがある	おもてなしの心が欠如し、相手の尊厳や安心感を無視していることが多い
到達目標 B	高齢者や障がいのある人の介助において、適切な技術を駆使し、安全かつ効果的にサポートする	高齢者や障がいのある人の介助において、適切な技術を使用してサポートする能力を示す	高齢者や障がいのある人の介助において、基本的な技術を使用してサポートする能力を持つ	介助技術に改善の余地があり、安全性や効果性に問題があることがある	介助技術が不十分であり、相手へのサポートが不安定であることが多い
到達目標 C	高齢者や障がいのある人とのコミュニケーションにおいて、適切なコミュニケーションスキルを発揮する	高齢者や障がいのある人とのコミュニケーションを円滑に行い、相手の意見やニーズを理解する能力を示す	高齢者や障がいのある人とのコミュニケーションを取り、相手との共感を築く能力を持つ	コミュニケーションスキルに改善の余地があり、相手の意見やニーズを適切に理解できていないことがある	コミュニケーションスキルが不十分であり、相手とのコミュニケーションが難しいことが多い
到達目標 D	高齢者や障がいのある人が安心感を持てるような方法を理解し、実践する能力を持つ	高齢者や障がいのある人に対して安心感を提供する方法を適切に選択し、実践する能力を示す	高齢者や障がいのある人が安心感を持てるような方法を選択し、実践する能力を持つ	安心感を提供する方法に改善の余地があり、相手の状況やニーズを適切に考慮していないことがある	安心感を提供する方法が不適切であり、相手に不安や緊張をもたらすことが多い

到達目標 E	高齢者や障がいのある人の状況や個性に合わせて、適切なアプローチを選択し、尊重する能力を持つ	高齢者や障がいのある人に対して適切なアプローチを行い、相手の個性や状況を尊重する能力を示す	高齢者や障がいのある人に対して基本的なアプローチを行い、相手の個性を尊重する能力を持つ	アプローチ方法に改善の余地があり、相手の状況や個性を適切に理解していないことがある	アプローチ方法が適切でなく、相手に対して不適切な行動をとることが多い
-----------	---	---	---	---	------------------------------------

【教科書】

【参考資料】

毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験・課題 50% 試験と課題を総合的に評価する
平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		サービス介助			年度	2025	
英語表記		Service Assistance			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	サービス介助の基本概念	サービス介助の基本的な概念と目的を理解する	1	サービス介助の意義	サービス介助の基本概念の理解	3	
			2	おもてなしの心の重要性			
			3				
2	おもてなしの心	おもてなしの心の重要性を学び、相手に安心感を提供する方法を学ぶ	1	おもてなしの心の要素	おもてなしの心の実践 コミュニケーションスキルの向上	3	
			2	コミュニケーション技巧			
			3				
3	高齢者へのサービス介助	高齢者に対するサービス介助の方法と配慮を学ぶ	1	高齢者の特性	高齢者へのサービス提供方法の理解と実践	3	
			2	身体介助の基本			
			3				
4	障がい者へのサービス介助	障がい者に対するサービス介助の方法と配慮を学ぶ	1	障がいの種類	障がい者へのサービス提供方法の理解と実践	3	
			2	コミュニケーションアプローチ			
			3				
5	情報提供とコミュニケーション	サービス利用者への情報提供と効果的なコミュニケーション方法を学ぶ	1	情報提供の重要性	情報提供とコミュニケーションの実践	3	
			2	適切なコミュニケーションスタイル			
			3				
6	安全と衛生管理	サービス介助における安全と衛生管理の基本を理解する	1	感染症対策	安全対策と衛生管理の実践	3	
			2	転倒予防			
			3				
7	ケアプランの作成	利用者に合わせたケアプランの作成方法を学ぶ	1	ケアプランの要素	ケアプランの作成方法の理解と実践	3	
			2	目標の設定			
			3				
8	緊急時の対応	緊急時の適切な対応方法を学び、冷静な判断力を養う	1	緊急時のアクションプラン	緊急時の対応方法の理解と訓練	3	
			2	応急手当			
			3				
9	サービス介助の倫理と尊重	サービス介助における倫理と尊重の重要性を理解する	1	利用者の尊厳尊重	倫理と尊重の実践	3	
			2	プライバシー保護			
			3				
10	サービス介助のコミュニケーショントレーニング	コミュニケーション力を向上させるトレーニングを行う	1	ロールプレイ	コミュニケーションスキルのトレーニング	3	
			2	フィードバック			

	ング	レーニングを行う	3				
11	サービス介助における心理的ケア	サービス利用者の心理的なニーズに対応する方法を学ぶ	1	心理的ケアのアプローチ	心理的ケアの理解と実践	3	
			2	コミュニケーションテクニック			
			3				
12	サービス介助の実践技術	サービス介助の実践技術を学び、利用者に快適な環境を提供する方法を学ぶ	1	身体介助の実践	実践的な介助技術の習得	3	
			2	環境整備			
			3				
13	サービス介助の役割と責任	サービス介助者の役割と責任について理解する	1	サービス介助の範囲	役割と責任の理解と実践	3	
			2	チームワーク			
			3				
14	サービス介助における問題解決	問題解決のスキルを学び、困難な状況に対応する方法を学ぶ	1	問題解決のアプローチ	問題解決スキルの向上	3	
			2	クレーム対応			
			3				
15	サービス介助のまとめと発表	学んだ知識とスキルを振り返り、	1	学習成果の振り返り	学習成果のまとめと実践の心がまえ	3	
			2	実践への展望を踏まえたプレゼンテーション			
			3				
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							